

様々な文章を比較して読み、自分の考えを表現する

1 指導のねらい

- (1) 文章の叙述に即し、登場人物の特徴や場面についての描写をとらえることができる。
- (2) 必要な情報を取り出し、自分の考えを明確にして書くことができる。
- (3) 学んだことをもとに、自分が読書した本について、その共通点や相違点を見つけ、比較して読むことができる。

2 指導過程

学習活動と発問 (発は発問)	指導上の留意点と評価 (評は評価)
<p><一次></p> <p>(1) 学習プリント①「ごんぎつね」、「あきらさんの感想」を読んで、感想を出し合う。</p> <p>(2) 学習プリント①下段の【あきらさんの感想】から二つの物語の共通点を探す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発 あきらさんは「ごんぎつね」と「大造じいさんとガン」の物語の共通点を三つあげています。どんなことでしょうか。</p> </div> <p>(3) 文中の言葉を手がかりに登場人物の心情や描写に迫る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発 兵十が、「おまえだったのか。」とごんのしたことに気づいたのはどこでしょう。</p> <p>発 残雪はどのような鳥として書かれていますか。</p> </div> <p>(4) 文中の言葉を手がかりに自分の思いや考えを表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発 あきらさんは、「動物好きのぼくには、うれしく思われました。」と書いています。それはなぜだと思いますか。文中の言葉を使って、あなたの考えを書きましょう。</p> </div> <p>条件1 【あきらさんの感想】の言葉を使う。 条件2 80字以上100字以内で書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな感想を出し合う。 ・三つの共通点を探し、文章中に線を引かせる。 評 あきらさんの言う二つの物語の共通点を読み取ることができたか。 ・プリントに線を引かせるなどして、自分の考えの根拠となる言葉を探させる。 評 登場人物(兵十)の心情が変化する場面をとらえることができたか。 ・「ガンの頭領、頭がよい、リーダー、英雄、強くて優しい」のうち、一つを例として示す。 評 文中の情報を正しく読み取れたか。 ・プリントに線を引いて根拠となる文中の言葉に着目させ、それをもとに自分の考えを出させる。 ・書いた作文を互いに読み合わせる。 評 読み取ったことをもとに条件に合わせて自分の考えを書くことができたか。
<p><二次></p> <p>(5) 様々な文章から自分の考えをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発 みんなもあきらさんのように、二つの物語を読み、共通点や相違点を見つけて感想をもとう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの物語を比較して読む力を付けていく。 評 学習したことをもとにして、読書した本の共通点や相違点を見つけて、感想をもつことができたか。

「ごんぎつね」

新美 南吉 作

これは、わたしが小さいときに、村の茂平もへいというおじいさんから聞いたお話です。

(中略)

「ようし。」

兵十は立ち上がって、なやにかけてある火なわじゅうをとって、火薬をつめました。そして、足音をしのばせて近よって、今、戸口を出ようとするごんを、ドンとうちました。

ごんは、ばたりとたおれました。

兵十はかけよってきました。うちの中を見ると、土間にくりが固めて置いてあるのが目につきました。

「おや。」

と兵十はびっくりして、ごんに目を落としました。

「ごん、おまえだったのか、いつも、くりをくれたのは。」

ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました。

【学習プリント①】

【あきらさんの感想】

「大造だいぞうじいさんとガン」と「ごんぎつね」の二つの物語には、いくつ共通点があります。まず、人から聞いた話をもとに作られていることです。また、動物が主人公としてえがかれていることも共通しています。

ごんぎつねのごんは、山の中に住む一人ぼつちの子ぎつねで、村へおりてきては悪さばかりしています。でも、それはごんのさびしさからくるものかもしれないと思います。

ある日、自分のしたいたずらが、兵十をとて悲しませたことをごんは知ります。その日からつぐないが始まります。しかし、兵十とごんの気持ちのすれちがいから、ごんはじゅうでうたれてしまします。土間にくりが固めて置いてあるのを目にしたときの兵十の気持ちはどんなだったでしょう。この時になって、ごんは初めて、「ひとりぼつちじゃない。」「ぼくの理解者りかいができた。」と思ったのではないかと思います。

一方、残雪はガンの頭領とうりょうで、頭もよく、むれをひきいてリーダーとしてりっぱに大造じいさんと戦います。とくに感動したのは、おとりのガンがハヤブサにねらわれたときの「さつと、大きなかが空を横切りました。ガンの頭領残雪です。残雪の目には、人間もハヤブサもありませんでした。ただ、救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけでした。」というところでは、仲間がいるから、強くも優しくもなれるのではないかと思えます。大造じいさんが、人間にしか使わない「英雄えいゆう」という表現で残雪をよんだのもわかる気がします。

このように、どちらの物語にも、最後には人と動物の気持ちの通じ合う場面があったことも、動物好きのぼくには、うれしく思われました。

あきらさんは、「ごんぎつね」を読んで、以前に読んだ「大造じいさんとガン」とひかくして次のような感想をもちました。物語と感想を読んで、あとの問いに答えましょう。

「ごんぎつね」

新美 南吉 作

これは、わたしが小さいときに、村の茂平もへいというおじいさんから聞いたお話です。

(中略)
ちゅうりやく

「ようし。」

兵十は立ち上がったって、なやにかけてある火なわじゅうをとって、火薬をつめました。

そして、足音をしのばせて近よって、今、戸口を出ようとするとごんを、ドンとうちました。

ごんは、ばたりとたおれました。

兵十はかけよってきました。うちの中を見ると、土間にくりが固めて置いてあるのが目につきました。

「おや。」

と兵十はびっくりして、ごんに目を落としました。

「ごん、おまえだったのか、いつも、くりをくれたのは。」

ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。青いけむりが、まだつづ口から細く出ていました。

【あきらさんの感想】

「大造じいさんとガン」と「ごんぎつね」の二つの物語には、いくつ共通点があります。まず、人から聞いた話をもとに作られていることです。また、動物が主人公としてえがかれていることも共通しています。

ごんぎつねのごんは、山の中に住む一人ぼっちの子ぎつねで、村へおりにきては悪さばかりしています。でも、それはごんのさびしさからくるものかもしれないと思います。

ある日、自分のしたいたずらが、兵十をとて悲しませたことをごんは知ります。その日からつぐないが始まります。しかし、兵十とごんの気持ちのすれちがいから、ごんはじゅうでうたれてしまします。土間にくりが固めて置いてあるのを目にしたときの兵十の気持ちはどんなだったでしょう。この時になって、ごんは初めて、「ひとりぼっちじゃない。」「ぼくの理解者ができた。」と思つたのではないかと思います。

一方、残雪はガンの頭領で、頭もよく、むれをひきいてリーダーとしてりっぱに大造じいさんと戦います。とくに感動したのは、おどりのガンがハヤブサにねらわれたときの「さつと、大きなかが空を横切りました。ガンの頭領残雪です。残雪の目には、人間もハヤブサもありませんでした。ただ、救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけでした。」というところ。仲間がいるから、強くも優しくもなれるのではないかと思います。大造じいさんが、人間にしか使わない「英雄」という表現で残雪をよんだのもわかる気がします。

このように、どちらの物語にも、最後には人と動物の気持ちの通じ合う場面があったことも、動物好きのぼくには、うれしく思われました。

- ◎ 出題のねらい
- ・ 登場人物の特徴や場面についての描写をとらえることができるかどうかをみる。
 - ・ 必要な情報を取り出し、自分の考えを明確にして書くことができるかどうかをみる。

【解答例】

1 人から聞いた話をもとに作られていること

2 動物が主人公として、えがかれていること

3 (最後には) 人と動物の気持ちの通じ合う場面があったこと

二 (一)

土
間
に
く
り
が
固
め
て
置
い
て
あ
る
の
が
目
に
つ
い
た
と
き

(二)

頭が(も)よい

リーダー

「英雄」

* 強くて優しい、英雄でもよい。

* とき
* 字数

三

せ	が	よ	「
る	、	う	理
場	最	に	解
面	後	、	者
が	に	最	「
あ	は	初	や
っ	相	は	「
た	手	て	英
か	を	き	雄
ら	認	み	「
。	め	か	と
	、	た	い
	気	だ	う
	持	っ	言
	ち	た	葉
	を	人	か
	通	間	ら
	じ	と	わ
	合	動	か
	わ	物	る

← 80字 →

← 100字 →

* 二つの条件を守り、「くから」「くので。」と理由を述べる文末で書いていれば正答とする。